



タスカル情報

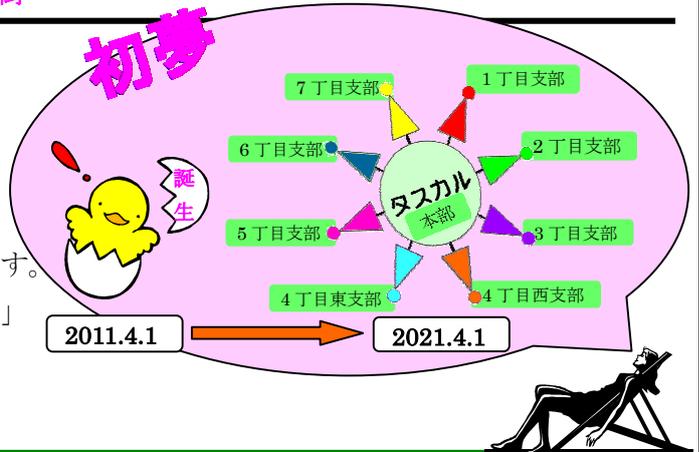
「タスカル」で助かる緑園の街

第4号

発行日 平成23年1月2日
発行者 「タスカル」推進委員会

あけまして おめでとうございます

皆様には、お元気で新年をお迎えのことと思います。
神奈川新聞社殿のご協力で、新年早々「タスカル」
が新聞で紹介されました。
今年も昨年同様宜しくお願い致します。



川 桑戸 屋 2011年(平成23年)1月1日 土曜日 地域 (30)

「助けてほしい人」から「助けた人」へのお礼としてやりとりされるのが、タスカル券。受け取った人は

タスカルの制度は、利用者が年会費千円とともに自分が人助けできる得意分野を、運営を担うタスカル推進委員会に申し込みをして会員登録。タスカル券10枚と、ほかの会員の得意分野などが掲載された会員リストをもらう。例えば、旅行で家を空ける際、会員リストの庭木の水やりの分野に登録している人に連絡すると、旅行期間中に代行してもらえ

横浜市泉区の相鉄いずみ野線緑園都市駅周辺の緑園地区で、地域通貨が導入されている。草刈りやパソコン相談の受け付けといった人助けの対価として通貨が手渡される仕組みで、その名も「タスカル」。同地区で「助け合い」の心を育むのが狙いだ。

(須藤 望夢)

よじはま

「タスカル」助け合う

泉区・緑園地区で地域通貨

神奈川新聞
THE KANAGAWA
新 1/1 (土曜日)
2011年 1月1日

住民同士つながり強める

今度、自分が助けが欲しい料優待が受けられる仕組みとときに使え、協賛の飲食店やフィットネスクラブに持参すると、料金の割引や無

流通範囲は、緑園1〜7丁目個人や商店。現在35



植木の手入れ作業に対して支払われた「タスカル」

横浜市泉区緑園

人が外国語会話などの分野に登録し、協賛店舗は1軒を数える。

住民でつくる「緑園地区活性化委員会」によると、1980年代に開発が始まった同地区では「住民同士のつながりの薄さが長年の課題だった」。一方、住民の中には社会で培った知識や技術を持った人が多い。そうした地域の力を生かす、人の結び付きを強くする目的で地域通貨をつくったという。

タスカル推進委員会の高野稔代表(右)は「多くの人に参加してもらうことでタスカルの利便性は高まる。これをきっかけに、より暮らしやすい町にしていきたい」と話している。問い合わせは、同推進委員会☎045(812)8307。

情報は報道部 ☎045(227)01